

私募債活用し 市に20万円

サンエス電気通信

北洋銀行がサンエス電



目録を手渡す宮田社長と本
間支店長（左から）

気通信（宮田昌利社長）の「SDGs（ふるさと応援）私募債」を活用して釧路駅周辺整備推進に役立ててほしいと7月27日、釧路市に企業版ふるさと納税で20万円を寄付した。同社は今年6月、同私募債1億円を5年の期間で発行。同銀行は0.2%相当額を同社が希望する道内市町村に寄付できる。

この日は宮田社長と本間剛同銀行釧路中央支店長が来庁し、鶴間秀典市長に目録を手渡した。宮田社長は「道東の拠点として釧路の活性化に取り組んでほしい」、本間支店長は「私募債を活用する仕組みで地元企業と自治体の架け橋になれば」と話していた。

（河辺由記子）